

氏名 吉 岡 溥 夫

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 乙 第 794 号

学 位 授 与 の 日 付 昭 和 51 年 9 月 30 日

学 位 授 与 の 要 件 博士の学位論文提出者
(学位規則第 5 条第 2 項該当)

学 位 論 文 題 目 ^{99m}Tc 硫黄コロイドによる骨髓造血巣分布の研究
第 1 編 健康成人および再生不良性貧血
第 2 編 再生不良性貧血以外の諸種血液疾患を中心として

論 文 審 査 委 員 教授 大 藤 眞 教授 妹 尾 左 知 丸 教授 小 川 勝 士

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

各種血液疾患における骨髓造血巣の分布を知ることは、その病態を知る上に非常に有意義であり、さらに諸種血液疾患の診断や治療効果判定に役立つのではないかと考えて研究を行った。

著者は骨髓造血巣分布の検査に ^{99m}Tc 硫黄コロイドと GammaⅢ型 scintillation camera を使用し、血液像、 ^{59}Fe 鉄代謝の成績についてあわせ考察した。

対象症例は、健康成人 5 例と再生不良性貧血 7 例、白血病 5 例、骨髓腫 3 例、赤血病、悪性リンパ腫、先天性溶血性貧血、サルコイドーシス、葉酸欠乏性貧血、ヘモクロマトーシス、血友病 B の各 1 例および肝硬変症 2 例の計 29 例である。

健康成人では頭蓋骨、軀幹骨、上腕骨および大腿骨に瀰漫性陰影が認められた。

再生不良性貧血では、1) 瀰漫性、不鮮明で分布面積の狭小化した型。 2) 島嶼状、鮮明で分布面積の狭小化した型の 2 つに大別出来、1) の型は血液像、 ^{59}Fe 鉄代謝とも典型的な再生不良性貧血型であり、2) の型は、骨髓は過形成を示し、 ^{59}Fe の骨髓摂取も抑留型を示した。

赤芽球増殖の旺盛な赤血病、先天性溶血性貧血では四肢末端に至るまで瀰漫性で鮮明な陰影が得られたが、血友病 B、骨髓腫、白血病では不鮮明で描出範囲も狭小化していた。しかし、治療により寛解期に達していた急性骨髓性白血病では、非常に鮮明な陰影を広範囲に描出し得た。

以上、 ^{99m}Tc 硫黄コロイドによる細網細胞の分布と ^{59}Fe による赤芽球分布が大部分の症

例で一致することが判明した。したがって、本法は、全身の活動性骨髄分布を知ることにより、骨髄を侵襲する諸種血液疾患の診断ならびに治療効果、予後の判定にはなほ有効な手段であることが判明した。

論文審査の結果の要旨

本研究は ^{99m}Tc 硫黄コロイドによる骨髄造血巣分布について臨床的に研究したものであるが、従来十分確立されていなかった全身の活動性骨髄分布について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。